

## 秋の講演会を開催しました

10月27日（土）、大阪市の大阪府社会福祉会館を会場に秋の講演会を開催しました。今年度は、臨床心理士としてさまざまな学校や病院、施設で子どもの心身のケアに取り組まれている芦谷先生にご講演をいただきました。

みなさんからお寄せいただいたアンケートから、感想をご紹介します。

### 「子どもの聴こえの問題に対する心理的支援」

講師 滋賀大学 教育学部 教授 芦谷 道子 先生

#### 参加者の感想

- ・ APD と発達障害の違いがよく分かりました。ありがとうございました。また、心因性難聴の症状3つについてもすごく分かりやすかったです。身体の智慧、症状の智慧は凄いというお言葉が心に残りました。症状をただ悪いものと捉えるのではなく、変化へのチャンスと捉えることがすごいと思いました。
- ・ 今日の講演を聴いて、難聴児の心理的側面において考えさせられるところがありました。私自身も軽度・中等度難聴で、今回の話にあった困難さというところに当てはまることばかりでした。なかなか自分で言い出せない、これが続くときこえるふり等も増えて、人との関わりの中ですれ違いもあったように思い、心理面にも自分だけのくぐり抜け方を誰にも相談できずに考えていかなければならない、そんなこともたくさんありました。そこで、やはり大切なのは、今日の話にもありましたが、早期の支援・周囲の理解等が求められると思います。後半には、APDの話もお聴きし、こういった聴こえの問題もあることを、これまで知らなかったので視野にいれてこれからの勤務に活かしていきたいと思います。環境の整備等できる支援がたくさんあることもわかりました。
- ・ 臨床心理士さんと耳鼻咽喉科とのつながりが最初、どのように連携されているのかと聞いていましたがお話を聞いていくうちに、聴覚は感覚器であり、心理面と大きく関係していることがよく分かり納得できました。APDについては医療機関でまだまだ診断等理解が広まっていない気がします。教育の場では思い当たる子どもが確かにいます。早く日本でも医療で診断を受けられ、教育の場で支援ができる環境が整ってほしいと願っています。
- ・ APD等、最新の情報をきくことができ、とても勉強になりました。APDやADHD等、聴こえだけから起因するものではないものがあることを知り、どんなアセスメントをすれば良いかを知つ



ておくだけでも、現場でより適した支援を精選できるように思いました。医学的な面、心理的な面で今回講演して頂き、とてもわかりやすく新たな視点を得られたように思います。PHLについても相談事例できくことも増えてきています。どんなケアが必要か教育の場でも求められていると感じます。たくさんの事例を含みお話し頂き、ありがとうございました。

- ・ きこえの課題と心理的なケアとの関係をもう一度しっかりと積み重ねた支援を行っていくことが大切だと感じた。難聴であれ、他の障害をもっている子であれ、言語発達が乏しいところの子どもであれ、きこえやことばで意識している子どもは、ろう学校でしっかり支援していけるよう専門性の向上に努める必要性も感じた。
- ・ APD について初めて知りました。2～5%という高い割合で出現していることに驚きました。周りに理解されず、困っている人がたくさんいるだろうと思いました。また、工夫次第で学習・生活しやすくなることも知りました。心因性難聴のお話の中であった難聴は守りの機能として表れているという言葉が印象に残りました。子どもたちの心に寄り添い、子どもたちが自分の心とつながれるように、しんどさに気づけるように、この視点を大切にしていきたいです。
- ・ 聴こえの問題を心理面から支援するという内容を非常に興味深く拝聴しました。目に見えない心の問題は身体に表れることも、具体的な事例を提示してくれながらの詳しい説明でよく分かりました。目に見えない分、心理的な支援は非常にデリケートな課題も含んでると感じました。
- ・ 聴覚特別支援学校の地域支援担当として思い当たることや、考えさせられることが多くありました。APD のことについてオーディオロジーとして模索していけたらと思いました。質問しませんでしたでしたが、「後迷路性聴覚障害」との関連性はどうかろうと思いました。

感想の他にも、数多くのご意見や、改善案をいただきました。次年度以降の参考とさせていただきます。ありがとうございました。

## 今後の予定

平成30年	12月上旬	冬の学習会の案内	機関紙65号	発行
平成31年	1月25日(金)	第3回代表委員会	(京都府立聾学校)	
	1月26日(土)	冬の学習会	(京都市 ルビノ京都堀川)	
		「教育オーディオロジー ～近畿でのこれまでの学びを振りかえる～」		
		講師	同志社大学 准教授	中瀬 浩一 先生
		「最新の人工内耳医療について」		
		講師	京都大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	山本 典生 先生
	3月下旬	集録第20号発行・機関紙66号発行		

近畿教育オーディオロジー研究協議会事務局 事務局長 内門 祐

〒640-8272

和歌山県和歌山市砂山南3丁目1番73号

和歌山県立和歌山ろう学校内

TEL: 073-424-3276

FAX: 073-424-0310

メール: uchikado-y002@wakayama-c.ed.jp